

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

|          |  |            |         |                    |
|----------|--|------------|---------|--------------------|
| 施策展開     | 1-(1)-イ  | 陸域・水辺環境の保全 | 施策      | 自然保護地域の指定等         |
|          |  |            | 施策の小項目名 | 森林病虫害防除対策及び防除技術の確立 |
| 主な取組     | 森林病虫害防除事業  |            |         |                    |
| 対応する主な課題 | 県木であるリュウキュウマツの松くい虫による被害は、平成15年度以降、減少傾向にあるが、本島北部を中心に依然として多くの被害が発生しており、天敵昆虫による防除技術の確立等、実効ある保全対策が求められている。 |            |         |                    |

1 取組の概要 (Plan)

| 取組内容   |                           | 年度別計画                           |                      |                      |                      |                      |
|--|---------------------------|---------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
|  |                           | H29                             | H30                  | R元                   | R2                   | R3                   |
| 森林の保全を目的として、森林病虫害等の適切な防除を行い、被害のまん延を防止する。松くい虫防除（薬剤地上散布、伐倒駆除（焼却及びくん蒸）及び樹幹注入）及びキオビエダシヤク駆除（薬剤地上散布）を実施する。 |                           | 4,398 m <sup>3</sup><br>松くい虫被害量 | 4,298 m <sup>3</sup> | 4,198 m <sup>3</sup> | 4,098 m <sup>3</sup> | 3,998 m <sup>3</sup> |
| 実施主体   | 県                         |                                 |                      |                      |                      |                      |
| 担当部課【連絡先】  | 農林水産部森林管理課 【098-866-2295】 |                                 |                      |                      |                      |                      |
|  |                           | 森林病虫害の薬剤防除、伐倒駆除などの防除対策の実施       |                      |                      |                      |                      |

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

| 予算事業名 森林病虫害防除費    |      |          |          |          |         |           | R3年度   |            | 令和2年度活動内容と令和3年度活動計画   |
|-------------------|------|----------|----------|----------|---------|-----------|--------|------------|---|
| 主な財源              | 実施方法 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算額 | R元年度決算額 | R2年度決算見込額 | 当初予算額  | 主な財源       |   |
| 各省計上              | その他  | 45,239   | 43,753   | 23,640   | 18,152  | 18,194    | 35,388 | 各省計上       | R2年度： 松林の保全を目的に保全松林において薬剤散布を57.5ha実施した。<br>R3年度： 松林の保全を目的に保全松林において薬剤散布を57.5ha、伐倒駆除を200 n実施する。市町村実施の防除事業に対して2件程度補助を行う。                     |
| 予算事業名 沖縄型森林環境保全事業 |      |          |          |          |         |           | R3年度   |            | 令和2年度活動内容と令和3年度活動計画   |
| 主な財源              | 実施方法 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算額 | R元年度決算額 | R2年度決算見込額 | 当初予算額  | 主な財源       |   |
| 一括交付金(ソフト)        | その他  | 129,344  | 52,375   | 48,695   | 97,137  | 44,582    | 47,585 | 一括交付金(ソフト) | R2年度： 松林の保全を目的として、その他マツ林において伐倒駆除を258 n実施すると共に、市町村実施の防除事業に対して9件補助を行った。<br>R3年度： 松林の保全を目的に、その他松林において伐倒駆除を200 n実施する。市町村実施の防除事業に対して9件程度補助を行う。 |

様式1(主な取組)

| 活動指標名   |  |  |  |  | R2年度   |  |             | R2年度<br>決算見込<br>額合計 | 進捗状況 | 活動概要   |
|---|--|--|--|--|--------|--|-------------|---------------------|------|--|
| 実績値   |  |  |  |  | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                     |      |  |
| 活動指標名   |  |  |  |  | R2年度   |  |             | 62,776              | 順調   | 活動概要<br>本島北部地域において薬剤散布57.5haを行うと共に、松くい虫被害木の伐倒駆除を147 m <sup>3</sup> 実施した。<br>また、市町村実施の防除事業に対して10件補助を行った。  |
| 実績値   |  |  |  |  | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                     |      |  |
| 活動指標名   |  |  |  |  | R2年度   |  |             | 62,776              | 順調   | 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果<br>令和2年度の計画値は、松くい虫被害材積を4,098 m <sup>3</sup> に設定していた。令和年12月末の被害量は、619 m <sup>3</sup> であったことから、目標値を上回って被害を抑制できたため、進捗状況を「順調」とした。<br>リュウキュウマツが豊富に分布する沖縄島北部地域への被害拡大の抑制対策を徹底したこと(その他マツ林)、保全松林においても予防措置や被害木の駆除が功を奏した。 |
| 実績値   |  |  |  |  | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                     |      |  |
| 活動指標名   |  |  |  |  | R2年度   |  |             | 62,776              | 順調   | 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果<br>令和2年度の計画値は、松くい虫被害材積を4,098 m <sup>3</sup> に設定していた。令和年12月末の被害量は、619 m <sup>3</sup> であったことから、目標値を上回って被害を抑制できたため、進捗状況を「順調」とした。<br>リュウキュウマツが豊富に分布する沖縄島北部地域への被害拡大の抑制対策を徹底したこと(その他マツ林)、保全松林においても予防措置や被害木の駆除が功を奏した。 |
| 実績値   |  |  |  |  | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                     |      |  |
| (2)これまでの改善案の反映状況                                      |  |  |  |  |        |  |             |                     |      |  |
| 令和2年度の取組改善案   |  |  |  |  |        | 反映状況   |             |                     |      |  |
| ・防除戦略検討委員会で検討された防除戦略に基づき防除が的確に実施されるよう、市町村、関係機関に働きかける。 |  |  |  |  |        | ・防除戦略に基づき、国頭村、東村において松くい虫被害北上防止のため、徹底した伐倒駆除を実施した。 |             |                     |      |  |



## 様式1 (主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### 内部要因

- ・ 防除事業の効果は、翌年度の被害量として現れるため、当該年度の取組の検証は年度内の実施が困難である。
- ・ 突発性病害虫や新たな侵入病害虫に対する情報を素早く収集する必要がある。

##### 外部環境の変化

- ・ 松くい虫による被害は、その年々の気象条件や媒介昆虫の密度、土壌等の影響を受けるため、被害年又は発生地域によって被害状況は異なる。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ 当年度の被害状況を把握すると共に、防除効果を高くするため被害先端地域を把握する必要がある。
- ・ 被害状況に応じた防除を実施する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ 防除戦略検討委員会で検討された防除戦略に基づき防除が的確に実施されるよう、市町村、関係機関に働きかけると共に、被害発生地域の迅速な把握と情報共有を行う。



様式1(主な取組)

| 活動指標名  | 対策地区数 |       |       |      | R2年度   |   |             | R2年度<br>決算見込<br>額合計 | 進捗状況 | 活動概要   |
|--|-------|-------|-------|------|--------|---|-------------|---------------------|------|--|
| 実績値  | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                     |      |  |
|  | 20    | 19    | 1     | 14   | 12     |   | 100.0%      | 150,125             | 順調   | 宜野座村第5地区(宜野座村)他11地区において流出防止対策及び発生源対策の整備を行った。               |
| 活動指標名  |       |       |       |      | R2年度   |   |             |                     |      |  |
| 実績値  | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                     |      | 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果  |
|  |       |       |       |      |        |   |             |                     |      | 赤土流出防止施設(沈砂池等)を整備した結果、農地及びその周辺の土壌の流出を防止し、農村の環境保全の進捗は順調である。 |
| 活動指標名  |       |       |       |      | R2年度   |   |             |                     |      |  |
| 実績値  | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                     |      |  |
|  |       |       |       |      |        |   |             |                     |      |  |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |       |       |       |      |        |   |             |                     |      |  |
| 令和2年度の取組改善案  |       |       |       |      |        | 反映状況  |             |                     |      |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事实施地区の問題・課題について、その解決時期や必要となる諸手続に係るスケジュール表を作成する。</li> <li>・県・関係市町村・土地改良区・各地区推進協議会・受益者間で調整会議を開催し、かんがい施設・水源施設整備範囲や用地買収などの問題・課題点を共有し、「課題整理票」を活用しながら、工事着手前までの早期解決を図る。</li> </ul> |       |       |       |      |        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施地区ごとにスケジュール表を作成し、その問題・課題に対する対処時期、解決時期を明確にした。</li> <li>・コロナ渦の影響により調整会議の開催は見送られたが、「課題整理票」を活用しながら用地買収などの課題・問題を共有し、工事着手前までの早期解決に取り組んだ。</li> </ul> |             |                     |      |  |



## 様式1 (主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

| 内部要因   | 外部環境の変化   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>『課題整理票』により明らかになった課題が他地区や他事業と共有出来ておらず、類似した課題に対し対策方法や考え方が統一されていない。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>コロナ渦の影響により県・関係市町村・土地改良区・各地区推進協議会・受益者間での調整会議の開催は見送られたため書面による調整を行っていたが、用地買収や単価未同意等の問題解決に取り組む際に各関係機関との作業分担や担当があやふやになる場合があった。</li></ul> |

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>課題の情報共有を行い、類似した課題に対しては広く意見聴取し、総合的な判断を行う。</li><li>複数の関係機関と連携して行う作業の作業分担や担当者を取り決め、明確化する。</li></ul> |
|--|



### 4 取組の改善案 (Action)

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>課題整理票で明らかになった課題の内、類似した課題を計画策定担当や事業執行担当に共有し、総合的に事業の改善を図る。</li><li>問題に取り組む際の作業分担や担当者を『課題整理票・スケジュール表』に明記し、課題解決に向け円滑な連携を図れるよう体制を整える。</li></ul> |
|--|



様式1(主な取組)

| 活動指標名   | 農業環境コーディネート組織の支援 |       |       |      | R2年度   |        |             | R2年度<br>決算見込<br>額合計  | 進捗状況 | 活動概要  |
|---|------------------|-------|-------|------|--------|--------|-------------|--|------|---|
| 実績値   | H28年度            | H29年度 | H30年度 | R元年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合<br>A/B |  |      |   |
|   | 8組織              | 10組織  | 10組織  | 10組織 | 10組織   | 10組織   | 100.0%      | 145,807  | 順調   | <p>地域協議会(10組織)における赤土等流出防止対策(グリーンベルト、カバークロープ等)に係る活動を支援した。</p> <p>赤土等流出防止活動資金の確保に係る制度設計に向け、地域協議会が実施可能な収益事業として、環境体験プログラムのマニュアル案を作成しつつ、テレビCM等、普及啓発を実施した。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>今年度は、引き続き10地域協議会(10市町村)が活動しており、グリーンベルトの増殖・植付体制の構築や赤土等流出防止対策の普及・啓発等に取り組んだ。</p> <p>農業環境コーディネート組織の支援により、農業環境コーディネーターが地域と連携して、グリーンベルト、カバークロープ等を活用した営農的な赤土等流出防止対策の促進が図られたことから、進捗状況は順調とした。</p> |
| 活動指標名   |                  |       |       |      | R2年度   |        |             |  |      |   |
| 実績値   | H28年度            | H29年度 | H30年度 | R元年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合<br>A/B |  |      |   |
|   |                  |       |       |      |        |        |             |  |      |   |
| 活動指標名   |                  |       |       |      | R2年度   |        |             |  |      |   |
| 実績値   | H28年度            | H29年度 | H30年度 | R元年度 | 実績値(A) | 計画値(B) | 達成割合<br>A/B |  |      |   |
|   |                  |       |       |      |        |        |             |  |      |   |
| (2)これまでの改善案の反映状況  |                  |       |       |      |        |        |             |  |      |   |
| 令和2年度の取組改善案   |                  |       |       |      |        |        |             | 反映状況   |      |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>農業環境コーディネーターの知識及び技術の向上に向けた研修とコーディネート業務に活用出来るような講習会等の情報提供を行っていく。</li> <li>農業環境コーディネーターの知名度向上と地域協議会の活動周知を図るため、イベントへの出展等活動状況をPRする。</li> </ul> |                  |       |       |      |        |        |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>県農業研究センターで探索した酸性土壌に有効な緑肥について、栽培手法等を共有し、農業環境コーディネーターの資質向上を図った。</li> <li>赤土等流出防止活動における営農対策の必要性を周知し、対策の機運を高めること等を目的に、テレビCMやテレビ番組タイアップ等により県の取り組みや農業環境コーディネーターの活動を紹介し、農地における赤土等流出防止対策をPRした。</li> </ul> |      |   |





## 様式1 (主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

| 内部要因   | 外部環境の変化  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・農地における赤土等流出防止対策を担う農業環境コーディネーターの知名度が低い。</li><li>・農業環境コーディネーターの農業に関する知識や技術などの水準にバラツキがある。</li><li>・農地における赤土等流出防止対策を継続するための支援体制が構築されていない。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・農家の高齢化や兼業化により、赤土等流出防止対策にかける労力や経費については、優先順位が低い状況にある。</li></ul> |

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・コーディネート業務を円滑に実施するため、農業環境コーディネーターの知名度、知識及び技術の向上を図る必要がある。
- ・地域協議会における赤土等流出防止活動の周知を図るため、県内部の関係機関に情報を発信する必要がある。
- ・農地における赤土等流出防止対策を継続していくため、赤土等流出について広く認知を獲得する必要がある。
- ・持続的な赤土等流出防止体制の構築に向けて、民間企業等へ協力を求めるなど、活動資金の確保について検討する必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・農業環境コーディネーターの知識及び技術の向上に向けた研修とコーディネート業務に活用出来るような講習会等の情報提供を行っていく。
- ・農業環境コーディネーターの知名度向上と地域協議会の活動周知を図るため、イベントへの出展等活動状況をPRする。



様式1(主な取組)

| 活動指標名  | 汚水処理人口普及率(着手済み整備率) |       |       |      | R2年度   |  |             | R2年度<br>決算見込<br>額合計 | 進捗状況   | 活動概要  |        |             |                     |
|--|--------------------|-------|-------|------|--------|--|-------------|---------------------|--------|---|--------|-------------|---------------------|
| 実績値  | H28年度              | H29年度 | H30年度 | R元年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                     |        |   |        |             |                     |
|  | 67                 | 67    | 68    | 68   | 74.5   | 79   | 94.3%       | 1,874,683           | 順調     | 恩納第2地区(恩納村)他13地区において、農業集落排水施設の整備又は更新に対する補助を行った。 |        |             |                     |
| 活動指標名  |                    |       |       |      | R2年度   |  |             |                     |        | 実績値(A)  | 計画値(B) | 達成割合<br>A/B | 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 |
| 実績値  | H28年度              | H29年度 | H30年度 | R元年度 |        |  |             |                     |        |   |        |             |                     |
| 活動指標名  |                    |       |       |      | R2年度   |  |             | 実績値(A)              | 計画値(B) | 達成割合<br>A/B                                     |        |             |                     |
| 実績値  | H28年度              | H29年度 | H30年度 | R元年度 |        |  |             |                     |        |   |        |             |                     |
| (2)これまでの改善案の反映状況   |                    |       |       |      |        |  |             |                     |        |   |        |             |                     |
| 令和2年度の取組改善案  |                    |       |       |      |        | 反映状況   |             |                     |        |   |        |             |                     |
| <p>・農村生活環境の改善を図るため、維持管理費の縮減及び運転管理見直しの意見交換の場を設け、本島および離島地区の現地視察を行い情報収集に努める。また、効果促進事業の交付決定前着手により申請期間を拡大させる。</p> |                    |       |       |      |        | <p>・本島および離島地区の現地視察を行い維持管理費のコスト縮減及び運転管理見直しにかかる情報収集を行った。また、効果促進事業を行った全地区において交付決定前着手を行い申請期間を拡大させ接続率向上に寄与した。</p> |             |                     |        |   |        |             |                     |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### 内部要因

- ・維持管理費、処理能力回復及び設備等の機能向上についても、事業の推進に当たり大きな課題となっている。
- ・宅内への接続費用に関する事業の実施については、現状として補助額や申請期間が十分ではないことから、本年度も水洗化人口増加への課題となっている。

##### 外部環境の変化

- ・集落内人口の減少による接続率の低下がみられる。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・本年度も市町村担当と連携して対策の検討を行うとともに、農業集落排水事業の必要性や効果を地域住民にPRし、汚水処理人口・水洗化人口の増加に努める必要がある。また、効果促進事業の申請期間の拡大が必要である。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・維持管理費の縮減及び処理区再編の意見交換の場を設け、本島および離島地区の現地視察を行い情報収集に努める。また、効果促進事業の交付決定前着手の積極的活用を促す。